セーブ・ザ・チルドレン
子ども給付金
新入学サポート2025



実施結果報告書

2025年９月

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

Save the Children

事業背景と実施概要

子ども給付金 ～新入学サポート2025～

【事業背景】

義務教育は無償、高校も授業料は無償といわれているが、実際には就学に必要な費用が多くあり、特に入学時の家庭負担額が大きく、セーブ・ザ・チルドレンが行った過去の調査でも費用負担が重いと感じている保護者が多いことが明らかになっている。加えて、近年の物価上昇の影響により、経済的に困難がある子育て世帯の経済困窮がより深刻化することが懸念される。

【実施概要】

子どもの学ぶ権利を保障するために、経済的困難や生活上の困難があり、入学にかかる費用負担が難しい家庭の、中学または高校に進学する子どもを対象として、入学時期に合わせて給付金を提供する。

定員：新中学1年生/新高校1年生　合計1,000人

給付内容：新中学1年生　3万円　/　新高校1年生　5万円　（返還不要）

＊高校入学時には、中学入学時に比べ公的支援が少ないことから高く設定

本給付金の対象要件

【対象要件】

以下の１・２・３すべてにあてはまる子ども

1. 申請時に国内在住で、2025年4月に国内の中学校・高校などに進学予定
2. 子どもの保護者の年間所得額がセーブ・ザ・チルドレンの設定する目安額*程度である
3. 生活状況がAからHのいずれかにあてはまる
    - A. 対象の子ども本人、または、保護者に障害がある
    - B. 対象の子ども本人、または、保護者が特定疾病を罹患し
      小児慢性特定疾病医療費受給者証、または、特定医療費受給者証を保有している
    - C. 対象の子ども本人がきょうだいに養育されているなど家庭環境に事情がある
    - D. 家庭内暴力により避難し、避難を継続している
    - E. 障害年金、または、遺族年金の受給がなく
      2022年と2023年の保護者の年間所得が目安額の1/2以下である
    - F. 対象の子ども本人が日本語を母国語とせず
      日常生活を送るうえで日本語によるコミュニケーションが困難な状況で支援を受けている
    - G. 対象となる子ども、または、保護者の在留資格が不安定・無国籍といった理由で
      公的支援が利用できない
    - H. Ａ－Ｇ以外の理由で生活上相当な配慮が必要な状況にある

*目安額は、住民税非課税または児童扶養手当全部支給の対象となる年間所得程度

申請・認定結果

①申請・給付　世帯数・人数

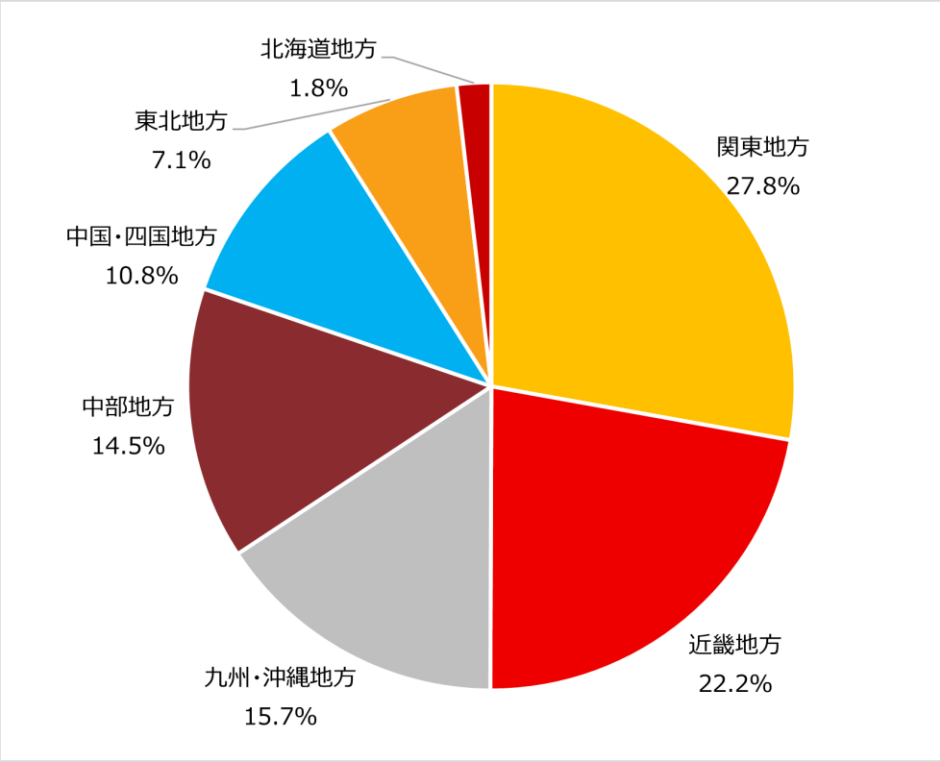
	人数				備考
	中1	高1	その他	計	
申請数	982名	1,146名	11名(＊1)	**2,139名**	（＊1）「その他」は年齢が学年相当ではない子ども、または、対象学年以外の子どもの申請。そのうち学年が相当な1名を新中1、2名を新高1として給付した。
給付確定数	484名	551名	0名	**1,035名**	

②給付確定数の内訳

	人数			備考
	中1	高1	計	
男	269名	287名	**556名**	(*2)郵送での書面受付において性別の記載がなかった1件を不明とした。
女	212名	264名	**476名**	
回答しない	2名	0名	**2名**	
不明	1名（*2)	0名	**1名**	
計	**484名**	**551名**	**1,035名**	

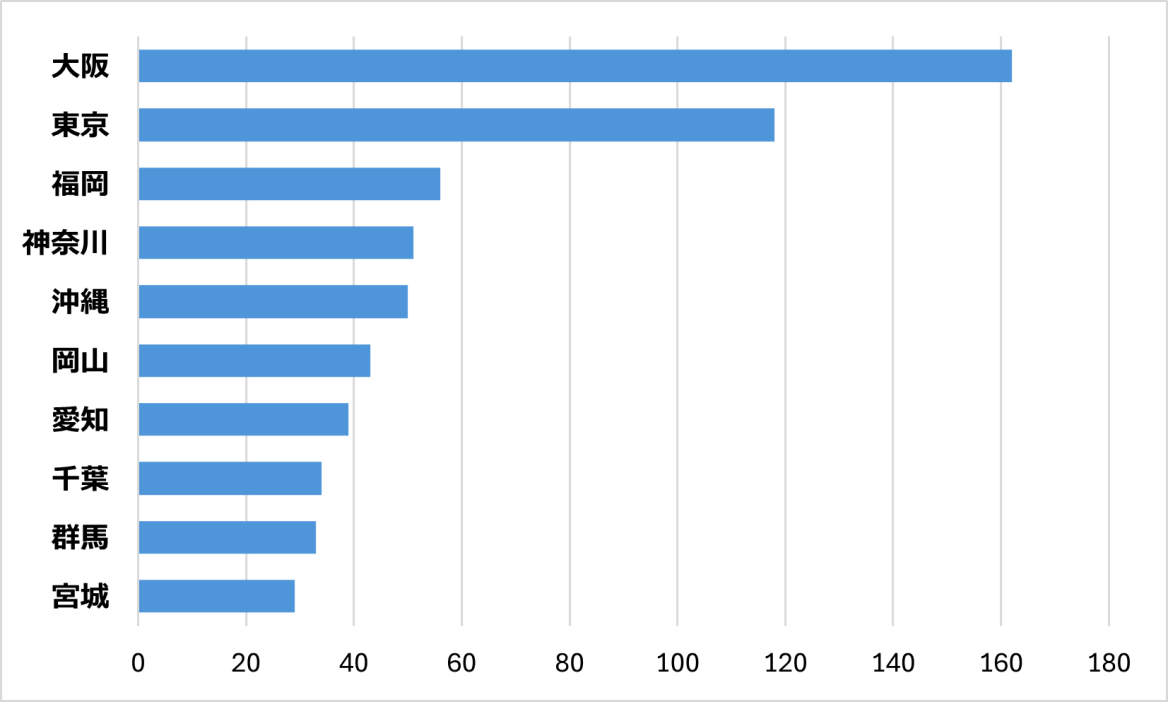
居住地域（給付確定者）

給付対象者の居住地域



（人）
n= 1 ,035

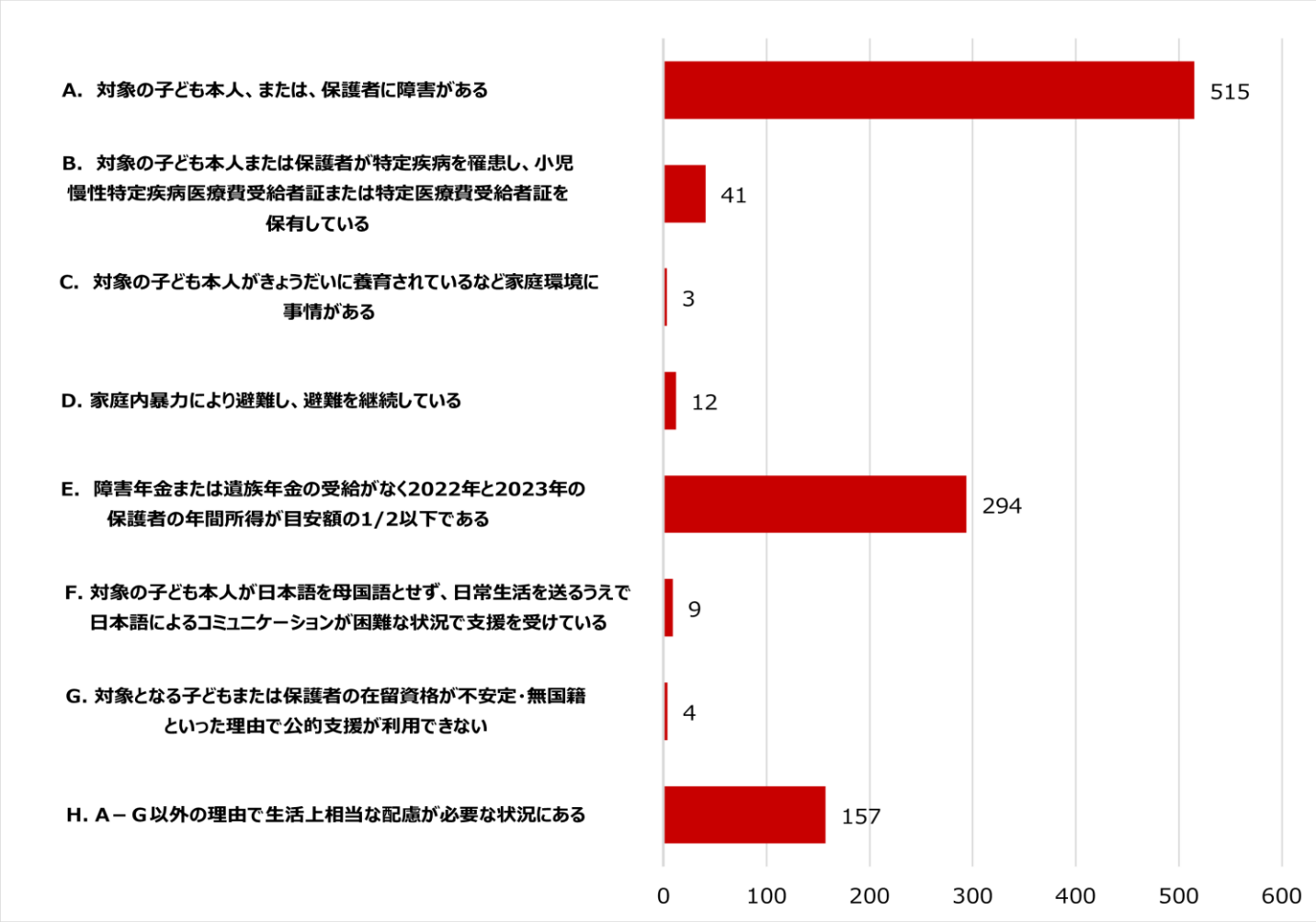
給付対象者の多い都道府県10



※全体の給付対象者は1,035人。上位10都道府県のみを抜粋

生活状況（給付確定者）

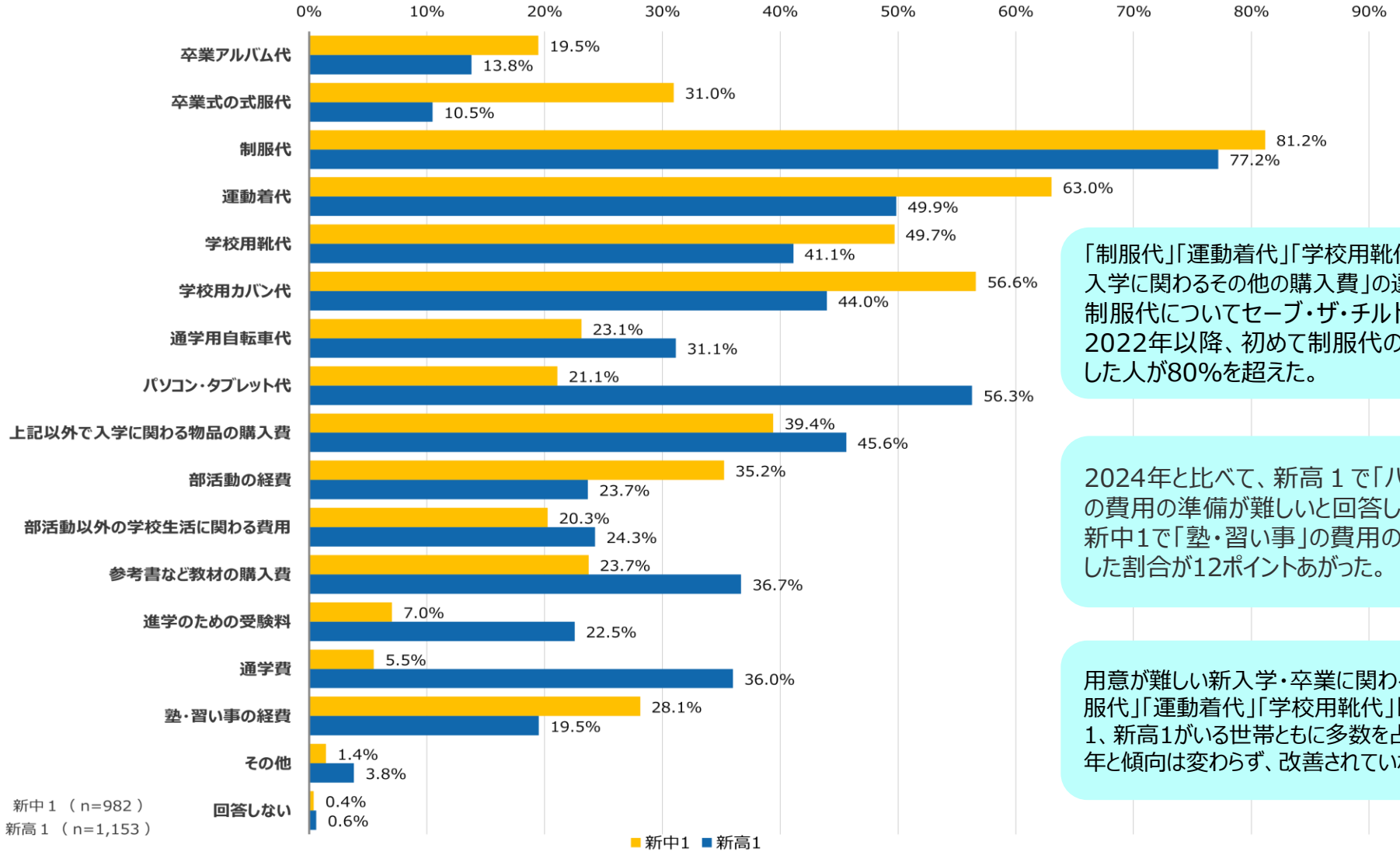
給付確定者が選択した生活条件



A-Gでは生活状況がわかる指定の書類の提出を必須とした。
「H. A-G以外の理由で生活上相当な配慮が必要な状況にある」を選択した人の多くはA-Gの生活状況に相当するが、指定書類の提出が難しい家庭であった

n=1,035　　＊単数回答

費用の用意が難しい費目（給付確定者）



「制服代」「運動着代」「学校用靴代」「学校カバン代」「新入学に関わるその他の購入費」の選択が多数。新中1の制服代についてセーブ・ザ・チルドレンが調査を始めた2022年以降、初めて制服代の用意が難しいと回答した人が80%を超えた。

2024年と比べて、新高１で「パソコン・タブレット代」の費用の準備が難しいと回答した割合が9ポイント、新中1で「塾・習い事」の費用の準備が難しいと回答した割合が12ポイントあがった。

用意が難しい新入学・卒業に関わる費用については、「制服代」「運動着代」「学校用靴代」「学校カバン代」が新中1、新高1がいる世帯ともに多数を占め、2022年～2024年と傾向は変わらず、改善されていなかった。

＊複数選択のため、合計は100%を超えている。

申請者の声《卒業・入学について不安に思うこと》（申請時アンケート自由記述より）

「卒業・入学について不安に思うこと」を聞いた自由記述では、「揃えないといけない物が多い」、「高額」、「準備が難しい」という声が多く聞かれた。
また、具体的にかかる費用が分からないため、入学に必要なお金を準備できるか保護者も子どもも不安を抱えている記述が多く見られた。

費用がいくらいるか、はっきり分からず不安です。（新高1・保護者）

卒業・入学にあたり、特に入学費用の捻出が非常に不安でした。子供自身が受験したい学校を言えないことがあり、子供なりに経済的な不安があり我慢をしていたように思います。（中略）教育ローンやクレジットも使えず、誰からも借り受けが出来ない場合は進学できない可能性も大いにあるため、子供や教育のための資金であれば、合格を待たず事前に母子寡婦福祉資金の申請ができ、速やかな貸付などができるようになればと強く思います。（新高1・保護者）

高校での授業料以外に、具体的にかかる費用も不明で、また食べ盛りなので、毎日の昼食代などについても不安です。（新高1・保護者）

まとまった金額が出ていく事にとても不安を感じます。
揃えないといけないものが多すぎる様に感じます。また、一つ一つの金額も高いので、進学を素直に喜べない気持ちがあり、子供にも申し訳なく思っています。国からの助成等が、少しでも増えることを望んでいます。（新中1・保護者）

制服や自転車、鞄などお下がりを着てる子達も少ない。
みんな新品で揃えないといけず、部活動の試合はすべて自転車で行かす中学校なので、１０万程の良い自転車を買う人が多くそれプラス制服や部活動の道具やユニフォーム購入で本当にお金がかかり不安で仕方ないです。
中学校で、柔道が体育であるらしく、クラブに入らないのに道着を購入しないといけないらしく、びっくりしてます。
授業で何回か使う為に購入できるほど裕福ではありません。（新中1・保護者）

入学に必要なものを揃えるだけのお金が得られないので不安です。（新中1・保護者）

公立の中学校ですが、制服代、鞄や靴代等があまりにも高過ぎて悩んでいます。（新中1・保護者）

＊カッコ内は子どもの学年、回答者属性
＊自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。

申請者の声《国や社会に向けた要望》（申請時アンケート自由記述より）

「国や社会に向けた要望」を聞いた自由記述では、制服にかかる費用についての要望が多く見られた。具体的には、新高1で高額な費用の是正を求める声が多く、新中1では制服が変更になることによって、リサイクル品などが利用できないことが負担になっているという声も少なくなかった。また、新高1では、入学前に必要な費用が給付される制度への要望も目立った。物価高や米の高騰を受け、高校でも給食制度や昼食費の補助を求める声も多数寄せられた。

制服代が公教育と思えないほど高い。なんとかしてほしい。（新中1・保護者）

制服をかえるのはやめてほしい。おさがりがなくなる。もしくはずっと体操服、ジャージがいい。制服が必要なくなるので。（新中1・保護者）

卒業、入学のみならず、義務教育に関わる費用は無料にしてほしいです。（新中1・保護者）

制服や体操服、教科書、電子辞書など…入学のために購入しなければいけないものがたくさんあり、しかも全てが高額であるため頭を抱えています。
また、高校からは給食が無くなることも頭が痛いです。
全ての必要な物を無償化し、高校でも子供たちが勉学に集中するため、給食制度（無償）を作って欲しいです。(新高1・保護者)

就学援助制度を利用させていただいていますが、一旦納めないといけないので、とても苦しいです。（新高1・保護者）

就学援助を利用しているので後から返金される移動教室代ですが先に払うのが困難なので、そもそも集金を無しにしてもらえると物凄く助かります。（新中1・保護者）

入学時に払う金額が高く借り入れしないと払えません。ですが国などからの借り入れは必要な時にすぐ貸して貰えず必要な時までに間に合いません。入学の払い込みまでに間に合うように少し余裕を持って貸して頂けると助かります。また、授業料免除はとても助かります。それでもその他の支払いが多くかなりの負担になっています。タブレット費用など必ず必要なものなども免除や学校の物を使う（全員）などして頂けると負担が減るので嬉しいです。（新高1・保護者）

公立高校を志望していますが、私立高校も受験するので、一旦納める入学金が、負担です。（新高1・保護者）

制服がブレザーに変わり、お下がりが使えなくなった。下のきょうだいがいる家庭は旧制服も認めてほしい。学習にタブレットが必須となり、個人での購入が難しい。安いものでも５～６万円かかる。Wi-Fiやケーブルなどがないため、新しくインターネット環境を整備せねばならず、加えて月ーの通信費も負担が大きい。(新高1・保護者)

学校で数回しか使わない物は購入ではなく、貸し出しにしてほしい。（新中1・保護者）

＊カッコ内は子どもの学年、回答者属性
＊自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。

利用世帯の声《給付が分かったときの子ども・保護者の感想》

本当に助かりました。制服がまずは買えるか？買わないと行けないものではあるけど、全部買える？と親には聞けず…　大丈夫かな？と不安でいっぱいでした。買えてよかったです。（新高1・子ども）

本当に助かりました。今、このアンケート時に子供の気持ちを聞いたら、申し訳なく感じました。そんなに不安にさせてたんだと…高校生活楽しんで欲しいです。（新高1・保護者）

高校入試もそうですが、受かった際の費用も凄くかかるんだろうな～と不安だったので、少し安心出来て嬉しかったです。（新高1・子ども）

給付が分かった際はとても嬉しく、またとてもありがたい気持ちになりました。子供に伝えた時の笑顔が忘れられません。給付金は制服購入の一部として使わせて頂きました。（新高1・保護者）

制服も本当は新しいものが良かったけど、靴やいろいろ学校で使うものが買えてよかったです。ありがとうございます（新中1・子ども）

この給付金のおかげで、子どもの笑顔が見れました！
本当は新しい制服が良かったと言ってまして、そこは申し訳ない気持ちがありますが新しい靴や、学用品を揃えてあげることができ、無事中学入学できました！（新中1・保護者）

給付対象になったおかげで入学できました。ありがとうございました。頑張って勉強します。（新高1・子ども）

入学に際し学校に支払わないといけないお金や、教科書代に利用させていただきました。給付金があったおかげで高校入学を諦めていた娘が入学できたこと嬉しく思います。ありがとうございました。（新高1・保護者）

セーブザチルドレンの事を母から初めて聞き給付金のおかげで僕は助かりました
ありがとうございました（新高1・子ども）

最初は経済的な理由でタブレットの購入は難しいと子どもに相談したりもしましたが給付金が決定になり子どもに伝えると安心したようでした。入学後、端末購入させてもらいました本当にありがとうございました。（新高1・保護者）

応募してからずっと、毎日のようにメールを気にしていました。日々の生活費も足りない状況で、新入学の学用品など買えるはずもなく、毎日祈る気持ちでメールを見ていました。決定の通知を見た時には、不安で押しつぶされそうな毎日から解放されて安堵で涙が出ました。
無事にオリエンテーションで制服のお金を持って参加出来、子どもに不安な思いもさせずに新たな希望を持って一歩を踏み出せたこと、本当に感謝致します。（新高1・保護者）

高校入学にあたり、本当にみるみるうちにお金がなくなってきて、とりあえず最後の購入品は教科書だったので、それに充てました。本当に助かりました。
学費も物価高騰の為か学校説明会の時よりも高くなっており、入学が不安で仕方なかったのですが、教科書を購入出来ただけ、ホッとしました。
制服も洗い替えが買えないので、毎日洗濯して、それを着て登校してくれてます。ギリギリの生活をしているので、本当に本当に嬉しかったです。（新高1・保護者）

学校の制服、靴、ジャージ、教材とお金が飛ぶようになくなっていく中、給付が決まり本当に有り難く思いました。そしてスピーディーに振り込まれたのも大変有り難かったです。娘の学校はクレジットカードで買えないものも多く、現金がないと借金するしかなかったので助かりました。給付金は教科書や靴、かばんを買うのに使わせて頂きました。自分の好きなカバンが買えて喜んでいました。（新高1・保護者）

＊カッコ内は子どもの学年、回答者属性
＊自由記述は、原文のまま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正したり、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集している場合がある。

利用世帯の声《給付金で購入したもの・感想》



新しいペンケースを、自分が好きなのを選ばせてもらいました。（新中1・子ども）

中学へ進学するにあたり本当にお金がかかり、一番大変だったのが制服、体操服、学校指定の鞄や上履きなどです。
子供もそれが分かっていて、遠慮している部分がありました。（新中1・保護者）

皆んなと同じ制服が欲しかったので嬉しかったです。ありがとうございました。（新高1・子ども）

子どもの学校は私服での登校も可能な学校ですが制服を欲しがっていたので助かりました。（新高1・保護者）

通学用の自転車購入に利用しました。
新しい自転車が手元に来た時には目をキラキラさせながら喜んでいました。片道9キロを通学するとなると気が重かったはずなのに新しい自転車を目の前にすると通学するワクワクな気持ちでテンションあがってました。
暑い中、自転車の通学頑張ってます。（新中1・保護者）





学校規定のパソコンを買うことができ、みんなさんと同じ授業を受けることができ安心しました。（新高1・子ども）

制服も高く金銭面的にかなりきつく不安で仕方ない毎日でしたがこちらの給付金で新学期に間に合い親子共々安心しました。いつも我慢させていたので好きな物を選んでもらいました！特に新しい筆箱とシャーペンが嬉しいのか、筆箱の中を整理整頓してます。（新中1・保護者）

間に合ってよかった～。ありがとうございます。（新中1・子ども）

*すべて利用者提供写真
*カッコ内は子どもの学年、回答者属性

給付金利用世帯の声《給付金で購入したもの・感想》

高校入学にあたり電子辞書の購入を勧められられましたが、高額なのでなかなか購入に踏み切れずにいました。何代も前の中古を買おうかと思いましたが、せっかくの給付金を有効に使おうと考え、一代前の新品を購入しました。
（高1・保護者）





経済面で中学校入学は予想以上にお金がかかってくるので学用品の購入に不安を感じていました。
セーブザチルドレン「子ども給付金～新入学サポート2025」の給付が決まり、本当にありがたいなと感じました。
子供もお金の心配をしてくる中、学用品の準備ができてとても助かりました。（新中1・保護者）

僕はセーブザチルドレンからの給付金で、部活に使うサッカーシューズと学校で使うタブレットのカバーを購入しました。
シューズはサイズが小さいものを長く使っていたので、自分で選んだ新品の物を購入できてとても嬉しかったです。
給付金の残りは6月に購入しなくてはならない、タブレットの購入に充てたいと思います（新高1・子ども）

子供に、どんな事に使いたいか聞いて一緒に商品を購入しました。
（新高1・保護者）





色んな物を沢山買わないといけない状態でタブレットまで買えるか分からないよって言われてたので、買えて本当に良かったです。ありがとうございました！（新高1・子ども）

給付金が決まった時は本当に本当に感謝しかありませんでした。高校がタブレット自費で各自指定品を購入でしたので購入出来るか不安でした。こちらの給付金を利用し購入が出来子供もとても喜んでたのと同時に安堵してました。（新高1・保護者）

*すべて利用者提供写真
*カッコ内は子どもの学年、回答者属性

本給付金の調査結果をもとにした政策提言

セーブ・ザ・チルドレンは、本給付金の申請時アンケート結果をもとに、経済的に困難な状況にある子どもや子育て世帯への政策・施策が充実することを目指して、以下の対策を速やかに講じるよう文部科学省やこども家庭庁などに提言しました。

■提言1：学校指定品以外の選択を可能にし、価格の見直しを

■提言2：新入学にかかる費用の支援制度の拡充

■提言3：高校入学前の準備金の創設

「セーブ・ザ・チルドレン子ども給付金 ～新入学サポート2025～」申請時アンケート調査結果はこちら
https://bit.ly/4ik9TEG

【問い合わせ先】
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部 新入学サポート2025担当
Email: japan.kodomosupport2025@savechildren.or.jp
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-8-4 山田ビル4階
TEL：03-6859-0398（平日 9時半～17時） FAX：03-6859-0069